

【草花の部屋】

アイリス(アヤメ科アヤメ属 Iris)

和名：アヤメ **別名**： **英名**：Iris

キジカクシ目 多年草。

原産地：ヨーロッパ南部、日本、東アジア

花言葉：希望、信じる心、恋のメッセージ、吉報、良き便り、知恵

花の色：紫、青、黄、オレンジ、白、ピンク他

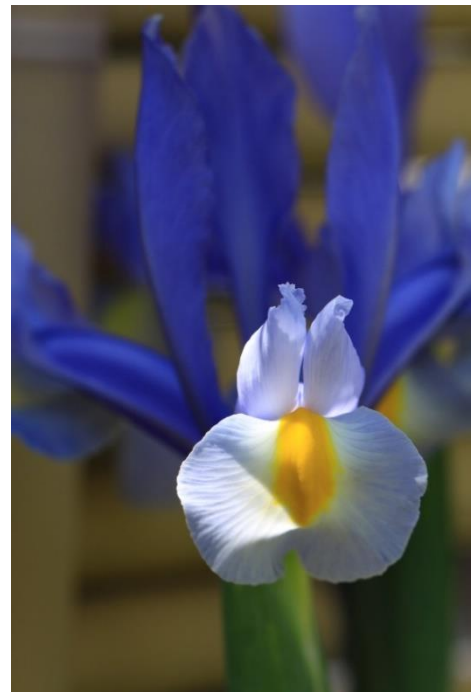


← 写真-1 ダッチアイリス

撮影日：2014年04月14日

撮影場所：大和郡山市 M邸にて

撮影者：Mさん



→ 写真-2 ダッチアイリス

撮影日：2017年04月19日

撮影場所：大和郡山市 M邸にて

撮影者：Mさん

毎年、4月下旬～5月中旬になると、我が家の庭を楽しませてくれます。

アイリスはアヤメ、ハナショウブ、カキツバタ、という名前で親しまれているアヤメ科の植物の総称です。1本の茎を伸ばし、先端に4片ほどの花を咲かせます。世界の温帯に約200種があるそうです。



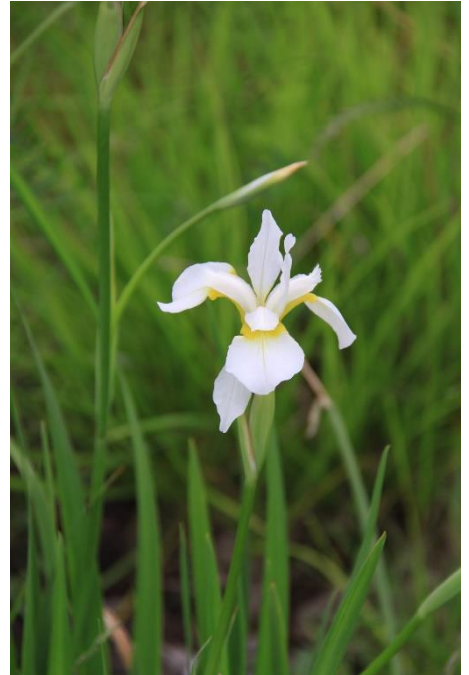
← 写真-3 ジャーマンアイリス

撮影日：2016 年 06 月 03 日

撮影場所：モネの家～

ジヴェルニー(フランス)にて

撮影者：M さん



← 写真-4・5 ハナショウブ

撮影日：2016 年 06 月 01 日

撮影場所：モンサンミッシェル
(フランス)にて

撮影者：M さん



→ 写真-6 アヤメ

撮影日：2014 年 06 月 24 日

撮影場所：フェアバンクス(アラスカ)にて

撮影者：M さん

① ジャーマンアイリス(ドイツアヤメ)

学名：Iris germanica

庭植えて親しまれているアイリスの 1 種です。
1800 年代にドイツやフランスで品種改良が盛ん



に行われ、現在はアメリカでたくさんの品種が作り出されています。花の中央部には、ひらひらした2枚の花びらが直立しています

② ダッチアイリス(オランダアヤメ) **学名**: *Iris × hollandica*

オランダで改良された球根の品種で、ジャーマンアイリスと似ており、中央にひらひらがないのが特徴です。

③ ハナショウブ(花菖蒲) **学名**: *Iris ensata*

英名: Japanese Water Iris、Woodland Iris

花色: 紅紫、紫、紋、覆輪など

江戸時代から園芸植物として親しまれる日本独自の品種で、品種の数は2,000を越えます。中央に黄色い筋の入った紫色の花を咲かせます。

④ カキツバタ(杜若／燕子花) **学名**: *Iris laevigata*

英名: Japanese Water Iris、Rabbit Ear Iris

花色: 青紫、紫、白、紋など

水中から生えてくるのが特徴で、花びらの中央に白い筋が1本入り、めくり上がった形状をしています。

⑤ アヤメ(文目) **学名**: *Iris sanguinea* **和名**: アヤメ(文目、綾目)

英名: Siberian iris **花色**: 紫、まれに白

山野の草地に自生し、他のアヤメ属の種であるノハナショウブやカキツバタのように湿地に生えることは稀。花びらの中央に入る網目模様が、和名の由来となっています。カキツバタやハナショウブに外見が似ていることから、よく間違われるそうです。

⑥ イチハツ **学名**: *Iris tectorum* **和名**: イチハツ **英名**: Wall Iris

藤紫色で、外花被片は倒卵形で先が丸く、内花被片は小型でともに平開する。外花被片に濃紫色の斑点が散らばり、基部から中央にかけて白色のとさか状の突起がある。アヤメの類で一番先に咲くので、「一初(イチハツ)」の名がある。